

第1回総合振興計画等の策定に係る意見交換会 会議録【意見の要旨】

日時 平成27年7月17日(金)
午前10時～午前11時45分
場所 本庁(5階)全員協議会室

[進行/地域政策部長]

意見交換 (午前10時40分～)	
森谷議員	資料4の3ページで、昭和30年と昭和60年の男性で比べると、半分近い人が減っているが、その理由を分析しているのか。その傾向と対策を考えるべきだと思うがどのように考えているか。
地域プロジェクト推進室長	基本的には社会動態の影響を受けていると思っている。高度成長期に仕事を求めて田舎から都会に出ていった事情が一番大きいのではないかと思う。
森谷議員	収入面や良い仕事に就きたいなど、人の魅力を感じる心はそう変わるものではない。人口を増やせば過疎債が借りられないといった弊害もあるので、皆が納得できる現実的な数値を示す方がいいと思う。
地域プロジェクト推進室長	国が目標にしている出生率では、2060年までに1.6から2.07まで上げれば、1億人で止まるという数字が挙げられている。 ただ、市町村においては、出生率では積み上げにくいので、年間の出生430人を今後は何人を目指すかということなら、数値を積み上げられる。自然動態や社会動態をつかんで、その上に目標をプラスするのが現実的だと思う。 目標を定めて机上で議論するのではなく、事業を考えながらその結果として、どのくらいの人数が出せるかを基本に考えたい。
森谷議員	基本的に人口を増やすとか減らすことは、人間の能力の範囲ではないと思う。減ったら減ったなりに、対応するのが人間の能力だと思う。国が出生率だからというのではなく、実際に起こったことに対応するのは可能だと思うので、そちらについても検討いただきたい。
地域プロジェクト推進室長	少子化が進む中、考え方として、他人と一緒にいるのが煩わしいから一人がいいとか、経済的な面、人と関わりを持ちにくいなども影響している部分があると思う。 政策では、「幸せな家庭」を子どもたちに見せていくとか、子どもたちが幸せな家庭の在りようなどを想像してもらい、彼らが自分たちで考えるといった広い視点で戦略を固めていくことも必要かと思う。
澁谷副議長	10数年前に新潟県上越市を視察し、市民1,000人会議を開催して総合計画を作ったことを聞き、カルチャーショックを受けた。 今回の説明で、「100人委員会」を開催し、総合振興計画を作るということで素晴らしいと思った。その中で、いい形にしてほしいと思うが、今浜田市で最重要課題は、やはり人口減少対策だと思う。一つ大きな項目として設け、市民の皆さんの意見として結集すべきだと思う。
地域政策部長	人口減少対策は、今回の計画策定で最も重要な柱だと思っている。色んな事業が人口減少に繋がるので、その項目をどう切り出していくかは審議会でも色々のご意見をいただいている。 市民の皆さんに、浜田市でどれだけの人口減少対策に取り組むか、その考えが伝わるような表記の仕方を考えたいと思っている。例えば一番前に出してま

	とめるといったことも含めて考えさせていただきたい。先ほど岡田室長も申したように、今後の人口推計の資料も出す予定なので、それに対してどういう施策を表すやり方があるかとも思っている。ご意見を尊重しながら、人口減少対策を皆さんにご理解いただけるような作りにしたいと思う。
澁谷副議長	<p>特に、社会動態、転入・転出をプラスにすることは、神の力を借りなくても計算で十分対応できることは全国の地方自治体の例を見れば分かるので、ぜひご検討いただきたい。</p> <p>2点目に、これまでも総合振興計画には数値目標が提示されており、先進自治体のどこもあると思うが、その検証は言わないと出てこない。前回、総合振興計画の進捗管理はどうなっているかと聞いたら、「新しく総合振興計画を作るので、それまでに検証する」という言葉だった。何年かごとに検証するという仕組み作りがないと、机上の空論に終わってしまう。極端な言い方をすると、そうなりかねないので、検証の仕組み作りをしていただきたいと思う。</p>
地域政策部長	<p>今の総合振興計画においても、目標 69 項目について平成 26 年度の結果をご報告させていただいた。本来は、毎年度の進捗状況を報告させていただかなければいけないと思っている。</p> <p>総合戦略も作るが、毎年検証することで指示を受けている。新しい総合振興計画では、目標値についても審議会で色々ご意見をいただいているので、それらを勘案して設定し、検証と報告は毎年度させていただきたい。例えば、第三者委員会を設けて検証したらどうかというご意見もいただいている。一方で、あまり手間をかけると業務が煩雑になると思うので、その辺も勘案しながら、例えば議会報告でご理解いただくのか、行革の委員会などであわせて報告するのかを検討し、きちっと進捗管理できるようにしていきたいと考えている。</p>
澁谷副議長	説明では一言も出てこなかったが、議会にとって一番関心があるのは久保田市長のロードマップのこと。それがどのような形で総合振興計画を組み立てるのか少し説明いただきたい。
地域政策部長	<p>ロードマップは久保田市長が就任され、皆様に重点政策について分かりやすく、また進捗状況等を報告することで取り組んでいる。総合振興計画は最上位計画であるが、既にロードマップを基に施策を進めており、中期財政計画等もロードマップを勘案しながらやっている。それを踏まえ、総合振興計画に反映するということになる。</p> <p>ただロードマップは、3つの重点項目のため、全分野を網羅していないが、総合振興計画は全分野を想定して作るので、その中の実施計画に位置付けられるものがロードマップとして取り扱っていかれたらと思っている。</p> <p>現在のロードマップは、総合振興計画のベースを前提に考えている。</p>
江角議員	10年後の浜田市の将来像を、どのようなまちにしたい、という具体的な意見を集約したのか。ここまで、項目で議論されて並び替えたという報告にしか見えない。人口目標に向け、どうかというような形にしか見えにくい。結局、浜田市はどうしたいのか、特徴的に集約したものがあれば教えていただきたい。
地域政策部長	10年後を見据えた基本構想を作るが、その基本となるのは資料5で示したが、総合振興計画審議会の委員からも将来像やキャッチフレーズについてご意見いただいた。やはり今住んでいる人が住み続けたいとか、住みよいまち、といったことが大事な切り口となっていると思われる。100人委員会でもそういう声があった。

	<p>これから都会に出られた若い方が戻って来られた時に、愛着が持てる住みたいまちになることが重要ではないかという意見もいただいた。自然や資源を活かしたのも当然あるが、私どもが今感じているこういう部分が10年後の将来像の柱になるのではないかと考えている。</p> <p>執行部がこういうまちにする、ということではなく、100人委員会や審議会等、市民の皆さんの色んな意見等を聞いてしっかり理解した上で、市の基本的な考え方をまとめていきたいということで、現在は審議会を3回と100人委員会の意見ではそういう「住みたいまち」「住み続けたいまち」を目指したいといった声が多かったように思うので、そういうことに配慮すべきと考えている。</p>
江角議員	<p>人口問題では、亡くなる方より生まれる方が増えて、高校や大学を卒業した方が地元就職すれば今までよりも減らずに済む。そのためには、一つの捉え方もあるが、今住んでいる人たちが住みやすいということはベースにあって、浜田に来てもらうことが一番望ましい姿ではないかと私は思う。</p> <p>それと邑南町の高校では、県外からの留学、受入の話があり、海士町もある。限られた条件の中でどう頑張っていくかが明確だと思う。逆に浜田市では、それなりに色んなものがあるが、何に特化して将来を描いていくかは我々議員の中でも色んな意見があると思うが、将来像の中に特化してどういうまちづくりを進めていくといったことがあってもいいのではないかと考える。</p> <p>「元気な浜田づくり市民委員会」の内容は別として、議論する必要はあると思うが、もっと前段に浜田をこうしたい、こうしよう、ということがあってもいいのではないかと考える。今日の説明はどれも大切なことで先程の話とも関連する所があるが、どういう浜田を作るのかと、一緒に作るのかということを検討していただきたいと思う。</p>
地域政策部長	<p>まず皆様のご意見を多く伺いし、最終的には市長が中心にどういうまちづくりをしていくかを検討させていただけたらと思う。</p> <p>今の意見については、今後また意見交換や審議会で出したいと考えている。</p> <p>邑南町と海士町の例は、厳しい条件を逆手にとった知恵を出された取り組みで、浜田市は邑南町とも観光を中心に関係を密にして連携をしている。県外からの学生誘致は、県が指定校制度ということもあるので、浜田水産高校も県外から学生を入れていると聞いている。そういうことにも力を入れて一緒に応援していきたいと考えている。</p> <p>今のご意見を参考にさせていただき、早い時期にどういうことを前面に出して浜田市の魅力アップをするかということを検討していきたい。</p>
牛尾昭議員	<p>私は審議会の2回、3回を傍聴させていただいた。その中で6月議会も含めて、例えば100人委員会で、これまでは市民の声を広く多く吸い上げるということをしてこなかった、そういう意味では進化があった。ただ、参加者を含めて不十分であったと。もう1回やればさらに深まっただろうという意見があり、もったいないという気がする。</p> <p>6月議会でも募集の仕方も十分ではなかったとあったが、やはり100人だけの意見を今回吸い上げてまとめられたことは評価するが、100人以外の意見はどうか、という素朴な疑問がある。</p> <p>もう一つ同じ土俵でいうと、審議会委員さんの意見も聞きながら、例えば出席率で第3回は相当の欠席がある。中には基幹産業を代表する方が1回目、2回目、3回目も欠席されている。今回該当の方はご勇退となって職場をお辞め</p>

	<p>になったと聞いている。審議会委員の選抜に問題があったのではないかと思う。しかし、既に3回終わっており、遡ってどうということではない。</p> <p>2回、3回と色々な意見を言われる中で、ご意見を自由気ままに言われているが、審議会条例を読むと、重点施策は部会を作ってやることもできるとある中で、そういった手法は全くされていない。25人の方がそれぞれに言われ、ジャンルでは全然絡まないようなこともある。傍聴していて、このような議論の掛け合いで計画がまとまるのだろうかという不安を持った。</p> <p>私も過去に総合振興計画の場面に遭遇しており、今回は相当進化したなと思うが、まだあるので修正をかけた方がさらに深みを増すのではないかと思う。</p>
地域政策部長	<p>100人委員会については6月議会でも報告したように、今回新たに多くの方のご意見をいただくということで参加者を募集した。確かに締め切りのことやPRなどの募集方法は十分でなかったと承知している。色々な意見を出していただくことでは非常にいいやり方だったと思っており、回数が不十分ということも委員からもいただいた。限られた期間で意見をたくさん出していただくということが最大の目的だったので、それはできたのではないかと考えている。</p> <p>先ほどのご意見をもとに、次回やるのであれば十分配慮したいと思う。</p> <p>審議会については、事前に次回、次々回の開催予定等は伝えているが、やはり公務等の都合でご出席いただけないということはある。業界の方で選出頂いた方が退任され、後任の方を推薦いただいているので、次回は後任の方に出ただけなのではないかと思っている。また審議会に出していない団体については、団体ヒアリング等も今後させていただくことにしている。必要であれば審議会に出していただいている団体にもヒアリング等させていただき、その関係のご意見はまた聴取したいと考えている。</p> <p>部会の設置については、審議会の中からと言われた議員もいらっしゃる。12月議会で議決いただくことを考えているので、可能であれば分野ごとで議論をいただくということも検討したいと思っている。</p>
牛尾昭議員	<p>今回傍聴して目からウロコだったことが、佐々木委員が「建設」という言葉は合わない、変えた方がいいのではと、びっくりした。その意見が正しいというのではないが、やはり幅広い方の意見を聞くことは重要だと感じた。</p> <p>市民から言わせると、毎週金曜の夕方6時から100人委員会をすればいいじゃないか、1か月から2か月のロングランでやり、色々な意見を出してできないか、といった市民の素朴な要求がある。</p> <p>まだ間に合うので、形を変えて、「市長と語る会」とかできないのかと。ちなみに議会の宣伝をすると、10月議会では「地域井戸端会」として市民と議員の意見交換会をやる。まだ3回目なので、市民の熱意を受け止められるような仕掛けで、よりよい総合振興計画になるのではないかと思う。</p> <p>もう1点、傍聴する中で、短期、長期の目標を決めた方がいいという意見があった。短期は観光、長期は重要産業を育成するという柱が必要だと思う。そういうことが計画に反映されないと、せっかくの業界の強い意見だと思うので。100人委員会はランダムに選ばれ、大事な案件については意見が出ない。総合振興計画審議委員のメンバーの中でも専門があると思うが、全く意見を言われない方、ペーパーで意見を出される方もいると思うが、全員が意見を言われないとまとめる時どうするのかという不安もある。その辺りの工夫が必要だと思うが、4回目以降についてどうお考えか。</p>

地域政策部長	<p>目標設定については色んなご意見をいただき、最終的には市長と協議をして短期・長期の目標を設定していかなければと思う。</p> <p>100人委員会のことは、皆さんに報告し、こういったご意見があり、まとめたことを報告しなければと思っている。まだ手法は決めていない。</p> <p>審議会の意見については、それぞれのお考えで積極的に発言される方と、あまり発言されない方が当然いらっしゃるので、会長さんも皆さん順番に意見をいただく努力をされていると承知している。その辺は事務局としても、改めてどういうやり方がいいかを検討させていただきたい。</p> <p>積極的に意見を言われる方は、私たちが想定していない意見を言われ、なるほどということがあるので、1人1回となると意見の制限になると思うし、なるべく多くの意見を拝聴できるようにしたいと思う。</p>
芦谷議員	<p>広域的な視点で邑南町や松江、萩の観光、県西部の中心都市として部門的な戦略、視点、切り口、こういった点があった方がいいと思う。そのためには、その視点で推進体制を持ちながら、今は広域的な推進がその時々で思いでされ、全体的な県西部の浜田市としての姿勢が見えないと思う。その点は空港利用やJRの利用促進も含めてもっと広域的な視点というのはいかがか。</p>
地域政策部長	<p>広域的な考えは非常に重要で、浜田市は県西部の中心都市なので十分配慮したいと思っている。</p> <p>邑南町との連携や浜田・益田・萩・長門との連携、広島市との連携もあるので、それがバラバラになるのではなくて、どこかで広域連携としてまとめるということだと思うので、検討させていただき、これまで以上に進めたいと思う。</p>
芦谷議員	<p>外国人観光客が島根県は47位だと。国際文化観光都市もありながら、また大遷宮もありながら、浜田においては県大も持ちながら、そこは至って見えないという感じがしている。国際交流の推進も含め、広域連携をさらに超えた国際的な戦略も必要だと思うが、見解を伺う。</p>
地域政策部長	<p>外国人の誘客ですが、島根県は全国でも47位。広島市は非常にたくさん来られるということで、経済的にも広島市と繋がっているし、広島県には国際空港があるので、上手く活かせないかと考えている。外国の方も欧米とアジア系の方では目的も違い、それぞれの対応の仕方も違うことも伺っている。どこの地域の方をターゲットに誘客をするのかも整理したい。以前、台湾等から誘客した時、宿泊施設の問題等もあったので、どこの方が浜田市の持つ環境で誘客できるかを見極めながら考えていかなければと思っている。</p>
芦谷議員	<p>自治区制度に関連して、自治区というのは周辺地域への施策の配慮、住民自治の推進だと思うが、公民館の利用も含めて見えない。住民自治を進める体制について考えを伺う。</p>
地域政策部長	<p>6月議会で自治区の新しい方向性を皆さんに議決をいただいたが、その際も市長がまちづくりに力を入れるということ、特にこの5年の中でやるということも申しているので、そのことも総合振興計画にも明記し、まちづくり、住民自治組織の取り組み等を進めていくことをきちんと謳い、推進できるようにしたいと思っている。</p>
原田議長	<p>10年先のビジョンが「まちづくりの展開」とあるが、どんなまちづくりをしていくかは、皆さん期待をしていると思う。特に、自治区別計画は非常にいいと思うので、自治区別に積み上げ、それを一本にまとめていくことも重要なことだと思う。自治区別計画をどのように作っていくのか、お聞きしたい。</p>

地域政策部長	<p>まちづくりの展開の「部門別施策体系」で、それぞれの現状と課題、今後の目標等を各分野の担当部にお願いをしている。あわせて、支所には、自治区別の今後の課題や目標等についても出す作業をしている。</p> <p>このことは、ロードマップでも自治区ごとの取り組みを出しており、それを踏まえて各支所で議論してもらっている。ある程度の素案ができれば地域協議会にもお諮りして協議いただき、各自治区の計画を作っていこうと思っている。</p> <p>まだ地域協議会にお諮りしていないが、先般は本庁支所会議を行い、たたきの作成作業を進めているので、それができれば地域協議会に諮り、各自治区の意見も踏まえて方針も作っていただき、それを総合振興計画に組み込む。当然、審議会や議会のご意見もいただき、チェックもしていただきながら進めたい。</p>
原田議長	支所はどのような進め方をするのか。自治区の意見を吸い上げる必要があると思うが、どのようにされるのか。
地域政策部長	支所のやり方は、地域の事情もあるので本庁でこうしてということは決めていない。既にある支所では、地域協議会委員が部会に分かれて各分野で議論されているところもあるし、地域協議会が白紙からは出しにくいので、たたきを出してほしいと言われた自治区もある。地域協議会、自治区、市民の皆さんとやり取りをしていく中で、地域の方の声を吸い上げ、まとめやすいやり方を考えていきたい。
原田議長	計画作りのことは、本庁から支所へは特別言っていないということか。
地域政策部長	書式や体裁は統一しないといけないので、本庁から書式は出している。また5つの自治区でバラバラのことが出ていけないので、ある程度目合わせはすることにしており、本庁・支所会議でたたきを考えているので、出たものをそれぞれ持ち寄って、すり合わせをしている。極端に差があってはいけないので、それを踏まえてページ数や、項目の出し方というのは基本的に揃え、内容はそれぞれで考えていただきたい。
原田議長	市民の皆さんの意見を吸い上げるということになると、支所においても、例えば公民館単位の会議を開いて、地域協議会委員や自治会の会長さんがおられるので、しっかり話をして計画づくりに対応しなければ、中々まとまらないのではないかという気がする。邑南町が公民館単位で意見を出しているというようなことも新聞に出ていた。
地域政策部長	具体的に公民館単位でということは考えていないが、支所長の意見も踏まえてやっていきたいと思う。スケジュール的には8月に1回まとめをして9月くらいにまとめたいと思うので、その中で住民の皆さんの意見を吸い上げられるようなやり方について相談したいと思う。
野藤議員	総合振興計画の第1回目に携わらせていただき、事務局が大変だということは感じている。人口減少対策が一番大切だと思うが、各種の細かいデータを説明いただいて考える上で、原因の分析や、外的要因とかの情報を委員にお知らせして考えるのと、いきなりデータを示されて話をするのではあまりに違うと思う。この度はどういった土台の上に議論がなされたのかをお聞きしたい。
地域プロジェクト推進室長	自然増減の理由は難しいが、社会動態については時間をかけて分析したいと思っているので、何が原因でこういう状況になっているのかが見えてくるものがあると思うので、次回にご紹介したいと思う。
野藤議員	<p>共通意識があれば、ある程度は違うのかなと思う。</p> <p>また、先日は婚活の関係で東北に視察に行ったが、そういうものが見えない</p>

	<p>ような気がするが、産み育てる年齢、20代から39歳の方が非常に減り、未婚、晩婚化が進んでいるように思う。社会増減のデータの中でもあったが、転入・転出の理由も聞かれていると思うので、そういった議論の状況をお聞きしたい。</p>
地域プロジェクト推進室長	<p>転入・転出については、県が移動理由を付けてアンケートし、分析したデータがあり、市でも今分析をしている。</p> <p>私が直感的に最初思っていたのは、就職で転出が益々広がることが大きな要因だと思っていたが、今少し分析したところによると、逆にいうと就職による転出入の数というのは圧縮されている状況にある。むしろ、転勤とか同伴者が多いのではないかと思い、その辺りも含めて分析を進めている。</p>
地域政策部次長	<p>婚活については、今年度係名を「定住婚活推進係」とし、力を入れて取り組むようにしている。確かに結婚の数や出生数が減ってきているが、結婚のお手伝いは私どもにも出来ることがあるので、計画に書き込みたいと思う。</p>
飛野議員	<p>自分の環境、人口問題に対しての各首長の考えが違うため、トーンは違うが、出生率の点で話が進む。しかし、東京、松江や出雲でやったりと、島根県西部、浜田の考えとは全く違うと思う。浜田で子育てをする世代がいるかいなか。今までは妊娠・出産からの支援であったが、これからは結婚からの支援と大きく変わってきている。そういったところをどうやっていくかで、県では結婚支援センターを設け、しっかりやっていこうと打ち出している。浜田も具体的に主体的に活用して取り組んで、計画に組み込んでいくべき。</p>
副市長	<p>出生の関係は、言われるように20歳から40歳までの母数となる人数によって出生率が変わってくるので、室長が言ったように、実質の出生が430人なので、本当は実数で目標を立てる方がいいとあるが、出生率2.07を掲げている。それは母数の数字が移動するため、おっしゃるとおりだと思う。</p> <p>子育て支援については、各市で施策を競争のようにやっているが、その手前の結婚に対することをまずはしっかり支援して取り組む必要があると思う。</p>
森谷議員	<p>100人委員会は、100人以外には口伝え等なければ広まっていけないが、ニコニコ動画であれば皆の意見も書くことができる。そういうことをホームページやYouTubeでアップしたり。6月議会は私がYouTubeにアップした。参加しない人にも意見を求める場、話ができる環境を整えるべきだと思う。</p>
地域政策部長	<p>そういった情報媒体を使って皆さんの意見を聞く、YouTubeを使うとか、以前からいろんな場面でそういうご意見をいただいているし、今内部でもそういうことの活用についても検討しているので、今のことも検討させていただきたい。</p>
西村議員	<p>資料7で説明いただいたが、総合戦略は今年度中に出せばいいのだと思っていたが、そうではなく、10月にはまとめて提出という説明があった。その件についてもう一度説明をお願いしたい。</p> <p>もう一つ、地方創生先行型交付金の実施計画書提出とあるが、理解ができなかったなので、もう一度説明をお願いしたい。</p>
地域プロジェクト推進室長	<p>まず総合戦略については、総合振興計画でも人口減問題は大きなことなので、対策を取り込んでいく。同時に審議会にもお諮りして進めていきたい。</p> <p>ただ、総合戦略については、県内各市の多くが10月までに戦略を国に提出するという条件を叶えることができれば、この地方創生先行型交付金を受ける対象となる。地方創生交付金というのは、3月の補正予算の時にも、国が補正が遅かったので、追加補正ということで議会にお諮りしたが、1,700億円のうち</p>

	<p>1,400億円はそういう形で3月補正している。残りの300億円について追加交付金ということで今からその事業について募集をかけていて、その提出期限が8月ということになっている。</p> <p>300億円の内訳としてタイプが2つあり、1つのタイプは総合戦略に入っていればいいということで策定の時期までは特に言わないが、タイプ2の方は10月までに総合戦略を策定していることが条件で、手を挙げるができるという交付金になっている。</p> <p>したがって、両方の交付金をこれからいただく手当をしていこうと思うと、10月末までに戦略を作るというスケジュールで各市が進めている。8月に申請書を出し、選定されて全国的にモデルとなるところを選ぶことになるので、全部が認められる訳ではないが、補正予算を組んで提出することができないため、まずは要求し、決定した後に9月に予算を組んでお諮りするということでご理解をいただきたい。</p> <p>10月に策定というのは、交付金のことがあるので、このスケジュールを目指している。その間で、中身を盛り込むことについては議会とも何度か意見交換をさせていただき、審議会や議会の意見を聞きながら概ね構成を確認していく。これ以上、動かないかなという段階まで確認いただければ戦略を作ってしまうと思う。</p> <p>ただ、総合振興計画の中に戦略も大きなプロジェクトとして盛り込んで、全体として皆さんのパブリックコメントをはじめとして、正式に聞いていくのは、スケジュールにもあるように10月中に並行して進めるので、総合戦略がやや先行する形になり、その部分は国への申請なり交付金の流れの中で前倒しでやっていきたいと思う。</p>
西村議員	8月に実施計画書を提出して採用されれば、それに見合う補正が9月で提案されるということか。
地域プロジェクト推進室長	そういうこと。
次回開催日時について	
地域政策部長	<p>次の意見交換会は、8月12日（水）に全員協議会が予定されているので、全員協議会の終了後にお時間をいただき、基本構想の骨子も審議会や本日いただいた意見も踏まえて、もう少し進めたものをご提案して意見をいただき、市の考えも出させていただきたいと思う。</p> <p>第3回の意見交換会は、9月議会中にお時間をいただき、意見交換をさせていただく予定としている。</p>

(午前11時45分閉会)